

審査基準

【1】審査項目及び配点

総点数【合計100点】

1 研究内容 50点

- (1) テーマ性及び構成(10点)
 - ア 商業に関する研究として相応しいか
 - イ 研究として論理的に構成されているか(仮説→企画→実践→検証→課題)
- (2) 研究の着眼点(20点)
 - ア 現状把握を前提として仮説の問題提起がなされているか
 - イ 現状分析・仮説に基づき企画を検討しているか
 - ウ 実践の検証が十分になされているか
 - エ 検証に基づいた提言や展望、課題が打ち出されているか
- (3) 研究の取組内容及び成果(20点)
 - ア 研究の取組に工夫がなされているか
(アンケート・実施調査・取材活動・作品制作・実験など)
 - イ 研究を通してどのような成果を学びとったか
(研究の成功・失敗にかかわらず具体的な記載がある)

2 研究報告書の完成度 10点

- (1) 報告書内の文章表現や編集は適切であるか
- (2) 資料提示に工夫がなされているか

3 研究発表 30点

- (1) 発表上の態度(10点)
 - ア 説明の状態(発表態度・進行など)は適切であるか
 - イ 機器の取り扱い(操作・トラブル対応など)は適切であるか
- (2) 資料の提示(10点)
 - ア 研究内容を説明するのに適切な画面構成(分量含)であるか
 - イ 研究内容を説明するのに適切な内容(提示方法含)であるか
- (3) 資料の説明(10点)
 - ア 発表内容は聞き取りやすく、分かりやすいか
 - イ 研究内容の説明としての説得力があるか

4 総合評価 10点

※ 研究報告書と研究発表の内容をふまえ、研究の完成度や独創的、創意工夫などを総合的に評価する。

- (1) 研究報告書(内容)に関する加点
- (2) 研究発表(説明)に対する加点

○ 上記の通りに審査を行い、審査委員の合計点で評価する。

関東

【2】発表時間

司会者による「それでは〇〇高等学校は発表を始めてください。」の台詞終了時から発表者による「これで〇〇高校の発表を終わります。」の台詞終了時までを計測する。発表時間は10分以内とし、時間を超過した場合は、以下の基準により総合得点の合計から減点をする。

超過時間	減点
10秒未満	－ 5点
10秒～	－ 10点
20秒～	－ 15点
30秒～	－ 20点
60秒～	－ 30点

※ 発表時のPC操作は発表生徒が行う。

※ 発表開始から13分を経過した場合は、発表の途中でも終了となる。

【3】賞の授与

- (1) 成績上位の3校を「優秀賞」とし、全国大会出場資格を与える。
それ以外の参加校は、「優良賞」とする。

【順位決定方法】

各審査委員による総合得点の合計の高い学校を上位とする。また、総合得点と同点の場合は、審査項目「研究内容」→「研究発表」→「総合評価」の順に、各審査項目の得点の高い学校を上位とする。なお、すべての審査項目の得点と同点の場合は、審査委員が協議し、審査委員長が順位を決定する。

- (2) 優秀賞、優良賞のそれぞれの得点は発表せず、順位もつけない。
(3) 優秀賞は、賞状と副賞（盾またはトロフィー）、優良賞は賞状のみを与える。
※ 各賞は審査結果に基づき、審査委員が協議の上決定する。

【4】その他

- (1) 研究報告書及び発表におけるコンテンツ（画像・映像などの個々の情報）の使用に際しては著作権及び著作隣接権、肖像権に十分留意すること。
※ 著作権及び著作隣接権にかかる音楽の使用（BGM等）はできません。
ただし、研究テーマの範囲で音楽を研究したい場合は、特例として生徒の自作音楽の使用を認める。
- (2) この審査基準は、令和4年度より適用する。
※ 令和4年度一部変更（表彰）